国保とわたしたち ㉖
心がけたい 早期発見・早期治療

わたしたちにとって、家族のみんなが健康で暮らせることほど幸福なことはありません。

もし、だれかが一人でも病気やけがをしたら、医療費の支払いに苦しむばかりでなく家庭内も暗くしずみがちなものになってしまいます。

ですから健康は幸せの第一条件ともいえましょう。

皆さんの健康と、明るい毎日をおくっていただくことを願って国民健康保険制度があるのです。

〝健康〟それは、皆さんの日頃の心がけにまさるものはありません。

また皆さんの国保もみんなの利用次第で、充分健康づくりに役立つ制度といえるでしょう。

国保とわたしたちの健康生活は、今や切っても切れない関係にありますが、ここ数年来医療費の増加がいちじるしく国保財政を大へん苦しいものにしています。

これを防ぐには一人ひとりが日頃の健康管理と、余分な医療費の支払いを防ぐためにも大病にならないうちに早期発見、早期治療に心がけることが大切です。

健康づくりを心がけましょう。

健康はからだをつくるには充分の睡眠と休養、バランスのとれた栄養、適度の運動によるからだの鍛練が必要です。

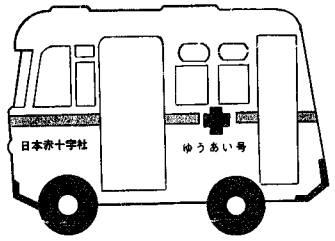
一般に現代人は運動不足の傾向にあります。

大いに運動し、からだを鍛えましょう。

運動が不足すると心臓病、糖尿病、高血圧、動脈硬化、腰痛などにかかりやすいといわれます。

このような運動不足病を解消するためには酸素を体内にうんととりいれる運動即ち呼吸がハアハアとはずんで、息づかいがあらくなり、たくさんの空気を吸いこむような運動、たとえばランニングなどのような運動がもっとも効果があるといわれています。

献血車
『ゆうあい号』がきます



とき　11月13日(火)
ところ　役場前
AM 10:00～12:00
商工会館前
PM 1:00～3:00

恩給の改善について

恩給法の一部を改正する法律に基づき旧軍人等にかかるあなたの恩給が改善されます

現在受けている恩給・扶助料の年額が増額されるものについては、次の請求改定となるものを除いて、職権改定されますが、次の改善については請求の手続が必要です。該当する方は所定の請求手続を行ってください。

請求手続を必要とするもの

①次の要件を備えた旧海軍の特務士官や準士官であった方の仮定俸給の改善

(ア)下士官として在職していたことがある者。

(イ)昭和20年11月30日までの旧軍人としての実在職年数が、普通恩給としての所要最短年数以上である者。

②旧軍人等の加算年を年金額に反映させる年齢要件が「65歳以上」から「60歳以上」に引き下げられます。

③訓導等として勤務していた者が代用教員となり、引き続き訓導等となった場合における代用教員期間が、恩給の基礎在職年に通算されます。

※くわしいことは、役場町民生活課におたずねください。

交通安全センター建設にご協力を!!

新津地区交通安全協会から

お願い

新津地区交通安全協会では安全教育の充実を図るため、このたび五、三六〇万円の予算で「交通安全センター」を建設することになりました。

そこで自動車運転免許証所有者の皆様にお願いして、建設資金の一部にあてるため、来る十一月一日から運転免許更新手続時に安全協会の窓口で一人あて千円の賛助金のご協力をお願いすることになりました。

何とぞ事情ご賢察下さいましてよろしくお願いいたします。

なお不明な点や詳しいことにつきましては安協の窓口(電話ニィッ(2)五一五一番)へお問い合わせ下さい。

入札結果
(日付は完了予定日)

一、道路改良工事
①水田地内　三百五十万円　名古屋組　(12月14日)
②鎌倉地内　三百四十八万円　柏建設　(12月14日)
③天ケ沢地内　六百万円　㈱高嶺建設　(55年1月8日)
④矢代田地内　七百五万円　阿部建設　(55年1月8日)
⑤鎌倉横川一号線(三ケ所)　五千四百万円　板井建設㈱　(55年3月26日)

二、舗装工事
①矢代田地内　二百五万円　㈱本間組　(10月30日)
②新保地内　二百十万円　日本舗道㈱　(10月30日)
③矢代田地内　三百五十万円　日本道路㈱　(11月9日)

三、水路整備工事
①矢代田地内　二百八十万円　岡田組　(12月14日)

赤ちゃんのことなら電話でなんでも相談できる

「赤ちゃんのことで聞きたいことがありましたら何でもどうぞ」と新津保健所では毎週木曜日（午前中）に電話相談を受付けています。

どんなことでも気軽に電話でご相談ください。

たとえば発育や病気のこと。おっぱい（ミルク）を飲みたがらないとか、予防接種のことなど何でも結構です。もちろん秘密は守られます。

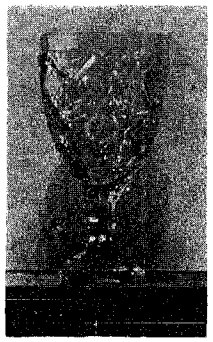
お相手する人は医師や保健婦、栄養士、精神衛生相談員等保健所の職員です。

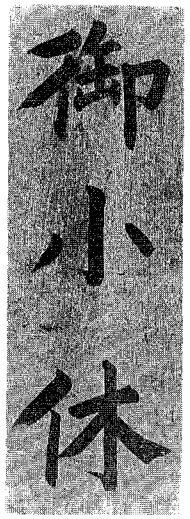
赤ちゃん講座 〈その2〉

朝晩の冷えこみが、めっきり強くなりました。赤ちゃんの衣服は、手まめに調節してあげていますか。朝寒かったからと、よけいに着せていると、日中暖かくなってから汗ばんでいることがよくあります。気温の変化にあわせて、まめに着ているものの調節をしてあげましょう。特に足先まですっぽり包む服は、足の動きが自由にならず、空気にふれることも少ないので、汗をかきやすいものです。できれば、寒い時は、くつ下をはかせ、暖かくなったらぬがせて、素足を空気にふれさせてください。やがて来る冬のために、今のうちに外の空気になれさせてください。お天気の良い日は、散歩もさせてあげてくださいね。

知っていますか
地方産業育成資金の貸付について

中小企業者に対する金融の円滑化を図るため小須戸町も古くからこの制度がありますが「産育」の借入者がいつも決まっています。新規の借入者もお待ちしています。詳細は商工会又は役場振興係までお問い合わせください。





右　本多邸御小休所標識板

上　天皇御使用ギヤマンのコップ

山の手古道を尋ぬ (二)
天皇飲みかけの洋杯を飲み乾す太郎馬少年

（承前）〝何宮なるや「もっと前へ前へ」と、しきりに後方より押さるる儘三尺とも隔てざる所まで進み、所謂咫尺して天顔を拝するを得たり。玉顔御麗はしく御鳳齢小供心にも御年二十七・八に御座しますやに拝されたり。御服黒羅紗、御帽子舟型黒地に白の波形ありしと覚ゆ。老生に御目を注がれつつ六七間御徐々と御徒歩御乗車あそばされたり。御奉送後直に御座所跡へ飛込み、幼年何の思慮もなく茶目式発揮、畏れ多くも陛下御倚りの御椅子に腰掛け（幼少の身体足の畳に届かざる今にも頭に残りをれり）右方庭園の池魚遊泳する様などを眺め廻し、不図卓上雪水の洋杯に約半ば程剰り居るものあるを見、御口附けのものなるや否不明なるも喉の渇き居りしを幸ひ、早速に一息に頂戴。供物は御茶は供せず、当節と違い氷などはなく、数寸大の雪塊に冷水、和三盆と長岡製(大和屋ならん)越の雪とを供す。洋杯の雪水は砂糖混入のものと思ひしに越の雪を御入れありき。また飛ぶが如くに岩倉公(裏座敷)の席跡へ行きしに洋杯三四個何れも半ば或は三分一程剰りをれり。これ亦悉く飲了（この分も越の雪混入のもののみなりき）広間の方に来りしに家族親族引揚げ来りをり、その後は拝観者のため邸内開放拝観者蝟集制し切れざる程なりき。その際御下賜御盃、外二品永世家宝とす。〟

以上が昭和二刊「明治大帝聖跡巡礼記」（前号明治二は誤）中の本多太郎馬氏の当時の思い出の一文である。まさに二十七才の雄偉な明治天皇と、当時矢代田小学校学童であった本多少年との対面、天皇、岩倉公の飲みかけのギヤマンのコップを飲み乾す少年の行為が、読む者をしてほほ笑ませる一文である。

天皇はこれより天ケ沢を左に山中に入り、鎌倉新田・湯川を境するあの旧道を通られ田上村吉沢家に御小休、午後五時二十分三条東本願寺別院の行在所に御到着。一行は新津町桂邸行在所より三五粁余の行程を十時間にわたる、御馬車・馬の強行であった。

われわれの本多家訪問をはじめとする調査もほぼ五時に終了した。山の手旧道は今は通る人とて稀であるが、古老の方々にもいろいろな思い出があろう。とくに、道中にいくらか散在する、宝暦、文政、嘉永等の墓石、碑石は、郷土愛好家の関心をいつまでもそそるだろう。

時移り戦時下に入り、昭和十二年四月八日、軍用道路として加茂―矢代田―新津線開さくが議決され、地域住民の勤労奉仕等の必死の協力を得て小須戸地内の両端を切り抜く、三五〇〇米の新道は、昭和十七年にほぼ開通。かって天皇も通られた山中へ入る、あの旧道の時代は終った。

次号へ続く

左　天ケ沢地内旧道